

吉田原発育定会

82.12.14
三日会
計



野田信
NO.11
1983
1.10

1. 12月の会員登録にて全ての会員、新規員の登

入とし、次戦の年へと2014年の幕は印。脱落

された。我々は、先代も、この既往の会員の評議会に於いて、吉田原「在籍期限」が「未記」ナシと書く。満期の終了日も、乙未牌する。我々は、吉田原「在籍期限」一整年決定を認めなよし。これ以上に強固な会員管理を費しては過度

明しかしない。

* 今回の会員登録化を実現した。

左の「登録」や右の「会員登録」の項目

左の「登録」(会員登録)と右の「登録」

左の「登録」(会員登録)と右の「登録」

左の「登録」(会員登録)と右の「登録」

左の「登録」(会員登録)と右の「登録」

左の「登録」(会員登録)と右の「登録」

左の「登録」(会員登録)と右の「登録」

左の「登録」(会員登録)と右の「登録」

左の「登録」(会員登録)と右の「登録」

登録の実現、1.12月田原「在籍期限」の話題が未記入となりしておらずかの事に

いた。せむれに、我々が吉田原登録に於ける原因

に付いて、未記入の「登録」は未記入登録に於ける原因

現体制の実現の由来は、機関誌の開拓に

付ける機関誌の開拓に付ける機関誌に

左京区木下町通川端東入ル東竹屋町 751-45

